

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2017~2018年度 No.223

## 8月 月報

那須クラブ会長 主題  
地域につなげ那須ワイズ

強調月間：CS



7月(公開講演会)例会

2018~2019年度 主題

国際会長：(IP) Moon Sang Bong (韓国)  
「私たちは変えられる」

アジア地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)  
「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事：(RD) 宮内 友弥(東京武蔵多摩)  
「為せば、成る」

北東部長：涌澤 博(仙台青葉城)  
「チャンス到来 われら北東部から世界へ」

クラブ役員 事務局

会長：河野 順子  
副会長：村田 榮也  
書記：田村 修也  
書記：藤生 強  
会計：村田・鈴木  
担当主事：藤生 強  
ブリテン：田村・村田

7月例会データ(出席率：83.3%)  
在籍者 6名  
例会出席者 5名 ネット 1名  
バネット1名、ゲスト 13名

今月の聖句  
神は愛です。愛にとどまる人は、  
神の内にとどまり、神もその人の  
内にとどまってくださいませ。  
1ヨハネ 4:16

8月 Happy Birthday

## 巻 頭 言

副会長 田村 修也

### 8月に思う(ひろしまの歌)

3. 11の被災者支援の一環として認めて頂いた那須ワイズ、那須YMCAの「なつかしい歌を歌う会」は、現在聖園那須老人ホーム、エルム福祉会たじまの杜、菅間病院ショートステイセレヴィー、町中サロンひなたぼっこ、三島公民館でそれぞれ行っています。ひなたぼっこの利用者の渡辺さんから「ヒロシマ」という歌のリクエストがありました。いつも楽譜をさがしてリクエストに応じています。最近の歌以外はほとんど分るのですが、「ヒロシマ」だけはどうしてもみつきりませんでした。歌詞はこうです。

1 顔も知らない母さんを

何度 呼んでは 泣いたろう

ヒロシマ ヒロシマ 太田河原に

春は幾度 巡るとも

今も心に残る傷跡

2 星の流れる教会で

君と祈った ミサの夜

ヒロシマ ヒロシマ みなし子同志

今は その君も 遠いあの空

3 赤い夕日に 色染めて

今日も暮れ行く 瀬戸の海

ヒロシマ ヒロシマ 太田河原に

風よ散らすな 心あるなら

今年も8月6日を迎えました。広島平和祭の式典のニュースがテレビ放送を通して、全世界に届けられました。広島市を世界平和の原点にしようという願いで昭和22年8月第1回の平和祭が挙行されました。開催に当って主催団体である広島平和祭協会会長の浜井信三市長が詩を公募して、広島教育音楽連盟の山本秀氏が作曲した「ひろしま平和の歌」があります。同年8月6日、敬虔な祈りの中、厳粛に行われた第1回広島平和祭で、高らかに合唱されました。以後、昭和25年(朝鮮戦争が起きた年)を除いて、毎年、平和記念式典で歌い継がれているうたです。今年も歌われました。

1 雲白く たなびくところ

空のはて 東に西に

おお高く こだまひびけと

鐘は鳴る 平和の鐘に

いまわれら 雄々しく起きて

その栄え ここに興さん

2 波青く たゆとおとところ

海の果て 南に北に

おお遠く 祈りとどけと

鐘は鳴る 平和の鐘に

いまわれら 試練を越えて

その行手 ここに仰がん

3 風清く かがやくところ

国のはて 世界の友に

おお熱く 想いかよえよ

鐘は鳴る 平和の鐘に

いまわれら 手をさしのべて

その睦み ここに歌わん

8時15分黙禱を捧げ、広島市長の平和宣言を聞き、子ども代表の平和の誓いを聞きました。

国際連合憲章の前文と第1条、ユネスコ憲章前文を読みました。「われらの一生のうちに二度までも限度に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い・・・」また「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人のこころの中に平和のとりでを築かなければならない・・・」と記されています。聖書にはイエス・キリストの言葉として「平和を実現する人は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」と記されています。改めて、ワイズの信条の冒頭の「自分を愛するように、隣人を愛そう」の言葉の重さを感じました。今私たちに、この信条を生きることが求められています。隣人との平和こそが世界の平和に繋がっているのですから。

## 7月(公開講演会)例会

書記 藤生 強

日時; 2018年7月13日

(金) 午後6時30分~8時30分

0分

場所; 西那須野教会

参加者; 河野、田村、鈴木、藤



生、村田の各メン。田村メネット。河野バネット。ゲスト; 平山主事、YMCAユースリーダー3名。西那須野教会牧師藩先生ご夫妻、西那須野幼稚園先生3名、田村メネットの友人4名。

7月例会は『知って得する、応急処置』と題し、夏特有のケガなどの「応急処置」を「実技」も交えながら学びました。講義は、那須ワイズメンバーで、那須赤十字病院看護師そして日赤幼児安全法指導員でもある鈴木メンが担当し、西那須野幼稚園の先生やYMCAボランティアリーダーなど子どもに携わるゲストを迎えて行われました。鈴木メン自身も学生時代はYMCAボランティアリーダーとして名を馳せ、そして現役の子育てママとして、第一線で子

どもに携わっていることから、講義の内容も身近で分かりやすいものであり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。



ここで、なるほど！と思った処置法を紹介します。

・肩や腕など骨折した時に安静状態確保のため

に三角巾を使用しますが、スーパーのビニール袋が代用できる！とのこと。入手しやすく、使い捨てられ、ビニールなので防水（簡易的）である。

・処置する側の感染症予防のために、使い捨て手袋（プラスチックグローブ）を使用する！とのこと。以前はその様な考えはありませんでしたが、確かに二次感染防止には必要ですね。

・虫に刺された時、毒を取り除くために毒吸引機（ポイズンリムーバー）が便利！とのこと。少しでも毒を取り除けば、腫れなどが少なく済みます。

・擦り傷や切り傷は薬を塗らず、とにかく水で洗い流す！とのこと。市販薬を使いたくなりますが、その後病院で診察することになった際に余計なものが塗られていると治療に影響が懸念されます。また飲み薬も素人判断で薬を処方すると、身体に合わず副作用が起きる可能性があるため、キャンプなどでは本人から常備薬を預かるのがベスト！

「応急処置」の考えも日々進化していると感じました。最新情報を得るためにも毎年講習会を行っても良いですね。

## 8月第2例会（役員会）報告

日時：8月10日（金）午前11時～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、村田メネット、河野バネット

協議事項

### 1. 8月例会について

納涼例会とし、原田ワイズ宅で8月25日に行う。納涼例会の前に塩屋のYMCAキャンプ場を下見する。午後3時原田さん宅集合で下見に行く。例会は、午後6時30分より行う。オークションを行う。司会は鈴木ウィメン。会費は1000円。

内容は、各自持ち寄り水流麺、豆腐サラダ・赤飯・かぼちゃの煮物（田村）、一品持ち寄り（鈴木）、ゼリー（原田）。生野菜（青シソ、オクラ、みょうが、

ピーマン、トマト、玉ねぎ、にんにく、じゃがいも等）（紙コップ、紙皿）村田。オークションの品物各自持参。その他不足品は購入。

ユースリーダーをはじめ、ゲストの参加を願う。参加申し込みは、準備の都合があるので、20日（月）までとする。確認は、河野会長。オークションの売上金は、西日本の豪雨災害支援献金に充てる。それにプラスして那須クラブよりささげる。

### 3. 8月ブリテン発行について

### 4. 9月例会の件

予定では、日本の文化にふれると題して、茶道にふれることであったが、講師の都合により、11月に実施することとした。北東部会に参加することにする。

5. 北東部会（仙台ワイズ70周年記念例会）の参加について

例会時に確認をして申し込む。

### 6. その他

①前期会費納入は、8月15日。

②部長の公式訪問の時期については、アジア学院収穫感謝祭の時（10月例会 10/13, 14）

③シイタケ昆布の購入の件

できるだけ早くお願いをし、25日の例会に間に合うようにしたい。

## 第1回北東部評議会に参加して

会長 河野 順子

日時：2018年7月28日（土）

於：仙台YMCA

久々に北東部会に出席しました。旧知の皆様会い、ゆるぎなくワイズに心を注いでおられることに敬服しながら会に臨んだ次第です。足利の諏訪さんがお元気で、ベテランとしてのご意見を述べられ、そこにはこれまでのワイズの流れと必然性を説明され、改善すべきはコンセンサスを取りながら検討していくアドバイスは、まさに見習う先輩として嬉しかったです。立派な冊子を作成された部長さんや書記さんには感服します。

議会次第は、

1. 前年度事業報告と会計報告、今年度事業予定と予算

2. 各クラブ会長の活動方針。活動計画

3. 2019年7月19日からアジア太平洋地域大会が仙台で開催されることに照準を合わせ北東部は、一丸となって成功に導くことが今回の会議で確認できた。

議案書



1. 2017～2018年度北東部決算承認の件  
承認

2. 2018～2019年度評議会出席者交通費補助について 承認

3. 北東部大会開催の件（当日は仙台クラブ70周年記念式典あり） 承認

4. 会員増強事業主査の役割の変更

会員増強主はE（新クラブ設立）、M（会員増強）、C（維持啓発）を担当業務としているが、EMCすべてが必要な業務であることから、性格や動き方の異なるEとMCを分離し、担当者をそれぞれ分けるといふ。単部会だけのものでないで声は挙げるが慎重に

5. 第4回北東部会開催について

日本区役員会の前か後かによって、新鮮なうちに部会の提案を提言するのか、日本区の提案を部に持ち帰るのかだと思ふ。今回はどちらにしても前記のアジア太平洋地域大会のための会議があるので、据え置き。

6. 2018～2019年度北東部収支予算（案）について 承認

7. 2018～2019年度北東部監事選任の件  
仙台広瀬クラブ 菅野健氏 承認

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第64回）

田村修也

前号の続き、印南さん、矢板さんが明治17年1月11日から12月28日に帰郷するまでに陳情活動をした政府要人の方々関連資料を紹介します。田中芳男従四位男爵です。天保9年1838年、旧信濃国伊那郡飯田城下の旗本千村氏の典医田中隆三医師の3男として生まれました。隆三は長崎に留学して蘭学を修め、医学のみならず本草学、舎密学（化学）等にも関心が深かったので、芳男も影響を強く受けていました。

安政3年1856年、名古屋に出て尾張藩御典医で博学者として著名な伊藤圭介の門下に入り、書生として種痘などの西洋医学を身に付け、博物学や本草学を学びました。後に長男が病死したため飯田に帰り家督を継ぎましたが、博物学や本草学は研究を続けました。文久2年1862年に師匠の伊藤圭介が幕府の蕃書（間もなく洋書講書に改組）に招聘を受けることになり、田中はその助手として出仕して、物産学、本草学の開発研究に当ることになりました。田中はその後の懐述によりますと、この時採用された方々の多くは、師匠である伊藤圭介を含めて殖産学、特にダイコン、ニンジン、ゴボウなどといった日用の産物には関心がなく、田中がもっぱらこの研究に従事することになったそうです。この間、伊藤師匠のお供をしてシーボルトを訪ねています。開成所付属の物産所で、殖産興業の発展を探求しています。その後、伊藤師匠が高齢になり退職したので、その後任になりました。1865年（慶應元年）、幕府はパリ万国博覧会に正式に参加することになり、昆虫の標本を出展することになりました。

田中は幕府からパリ万国博覧会への出張と昆虫標本の採取と製作を命じられたので、博物学者の阿部子息である阿部為任と共に関東一円で採取を行っています。同年11月にはシンガポール、スエズ運河を経由してパリに到着し1867年慶応3年、自ら採取した昆虫標本が現地の研究者たちに高く評価されたそうです。

その後、1875年明治8年博物館、動物園などを持つ公園の設立に尽力し、上野の博物館、動物園の建設のために町田久成らと共に力を注ぎ、設置いたしました。町田が初代館長、田中は2代目の館長になりました。次いで、農商務省博物局長を務めて退職し、元老院議員、貴族院議員につきました。

1870年明治3年物産局を創設。物産局はその後、勸業寮、農商務省、農林省・商工省、通産省と発展

### 今後の予定

#### ・ 8月役員会（第2例会）

日時：8月10日（金）午前11時～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：8月例会、8月号ブリテンの発行、9月例会、YMCA報告等。

#### ・ 8月役員会（第2例会）

日時：8月10日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：8月例会、8月号ブリテンの発行、9月例会等。

#### ・ 8月例会（納涼第1例会）

日時：8月25日（土）午後3時30分原田ワイズ宅集合、キャンプ場の下見後例会。

#### ・ 北東部会・仙台クラブ設立70周年記念祝会

日時：9月22日（土）午後1時～

場所：TKPガーデンシティ仙台

して行き、現在の経済産業省へと進展していきます。  
1878年明治11年駒場農学校設立に参画。1881年明治14年大日本農会結成に参画し、翌年には大日本水産会と大日本山林会の創設に尽力して、日本での農学と農林水産業の発展に貢献しました。  
1890年明治23年に貴族院勅選議員、錦鶏間祇候に、更に男爵を叙爵し、生涯農林水産業や博物学の発展振興につとめました。

余談になりますが、私は長年林業行政に従事していましたので、現職時代から全国の会議や集会がある度に霞が関からほぼ近い虎ノ門にある三会堂ビルに行っていました。三会堂ビルの名称にはあまり関心がありませんでしたが、ある時興味を持って調べてみると、大日本農会、大日本山林会、大日本水産会の三つの会が建てたもので、関係する主要団体が殆ど事務所を置いていることが分かりました。それぞれの関係団体が総会や集会を開くのには最適な建物です。

宇都宮大学農学部林学科に籍をおいていた時代から、大日本山林会の会員でした。現在も全国林業普及懇話会の理事として全国の仲間と共に活動していますが、その事務局は全国林業改良普及協会の中にあります。

今回田中芳男男爵の履歴を調べているうちに、この三会を設立に導いたこの方が那須疏水の開鑿と那須野が原開拓を支えてくれた一人であることに驚きを感じました。三会堂ビルの一階ホール左側に着物姿の銅像があります。田中翁の銅像か否かを大日本山林会に照会のファックスをいれました。すぐに返信がありました。大日本山林会の田中潔会長からでした。「大日本山林会会長の田中です。ファックスのご質問にお答えします。三会堂ビル1Fの銅像は、水産王・石垣隈太郎翁です。大日本山林会のホームページの会長メッセージの中に、没後100年田中芳男—日本の博物館を築いた男—というのがあります。ここに書いてあるように、田中芳男の銅像は国立科学博物館にあります。また、田中芳男の資料は、大日本山林会にもありますので、一度、文献センターにもおいで下さい。田中 潔」と書かれてありました。(以下次号)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園  
理事長・園長 福本光夫

### 2017年度のご報告と展望

「同じ風が吹いているのに

ある船は東へ、他の船は西へ行く  
どちらに行くかは 風によるのではなく  
風帆の張り方によるのです(EW ウイルコックス)」

「西日本豪雨」、そして七年半前の「東日本大震災」で被災された方々が希望のうちに一日も早くいつもの生活を取り戻せますように、被災地復興の為に働かれている方々の心と体の健康が守られますように祈ります。

私達は、東京電力の原発事故後、除染前の外遊びの中止、園庭や畑の土の移染、建物の除染、専門家による学習会、給食用逆浸透膜浄水機を設置しました。今も毎保育日、園庭中央の放射線量測定、給食の毎食一食分の丸ごと検査(アジア学院ベクレルセンター)等、可能なことは子ども達の為に実施しております。放射能汚染による幼稚園附属山林観察園とキャンプ場の施設が引き続き使用できない事を園児達にはお詫びし、保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。また、2017年度もスタッフ一同が愛を持って、子どもたちの幸せのために努力できましたことを感謝をもってご報告します。

ところで、西那須野幼稚園は、西那須野教会附属「しらゆり幼児園」から認可幼稚園として新たに出発して、この地域教育の一端を担う働きをさせていただくようになり、今年で61年目を迎えることができました。隣の「こひつじ保育園」との幼保連携型の認定こども園「西那須野幼稚園」として5年間実施して、新幼保連携型認定こども園に移行予定でした。新制度では担任以外の教諭は4人までしか認められず、共働き保護者に代表される2号認定のしょうがいのある子どもの補助金が国から市町に移り、市町からはその分は出ないので、県の試算で減収7300万円となることがわかりました。子ども達の最善の利益が担保出来ないばかりか破綻のおそれもあり、認定を返上しました。現在、幼保の子ども達は合同保育を実施しています。次年度は幼稚園型認定こども園になる予定です。制度は変わっても本園を信頼して毎日通園させて下さっている保護者の皆様に感謝し、信頼にこたえていく決意は変わりません。

また、昨年度「児童発達支援センターシャローム」を栃木県の民間施設として初めて設立しました。これで、赤ちゃんから六年生までの全ての子どもたちが共に育ち合う環境が整いました。

さて、冒頭の詩は私たちの環境は同じでも、心の持ち方によって、進んでいく方向は変わってくることを示唆しています。人生は、必ずしも順風満帆であるとは限りません。これからの時代についてオッ

クスフォード大学のマイケル・A・オズボーンさんは、「今後10～20年程度で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い」と報告しています。私たち子どもたちが、これからの正解の無い時代をその時その時の適解を求めて善く生きるためには、非認知能力といわれる折れない心(レジリエンス)、自己統制力(感情・意思・行動)、(価値観の違う人たちと)一緒にやり遂げる力が大切といわれています。地域社会が無くなった今、この基礎を培う土台としての遊びが、幼児期の保育に求められてきています。しかし、ロンドン大学のブラッチフォード教授によれば、遊びだけではダメで、みんなで乗り越える体験も大切であるとの報告をしています。本園も子ども達のよりよい未来を考えて、行事の見直しも含め本園の教育要領の内容を改訂していきます。

最後に、地域の皆様のご協力についてご報告します。

本園は、子どもたちのより良い自己形成のために、地域や他団体の方からも沢山のご協力をいただいております(コミュニティー・インクルージョン)。中学生の職業体験、五軒町区の皆様とのクリスマス会。また、更生保護女性の会の皆様には「地域親」として子どもたちとの昼食会へのご協力をいただいてから13年になります。YMCAとの協力による幼児から小学生までが実体験や遊びを通して育ち合うサタデークラブ(毎週土曜日に実施)は順調に17年目を迎えました。また、小学1～6年生を対象とした放課後学童クラブが12年目に入りました。

○視察・交流関係(敬称・個人名略)

教育実習生、三島小・東小・西那須野中・三島中・那須拓陽高校・黒羽高校・那須高校の生徒、アジア学院学生、那須塩原市社会福祉協議会、栃木県議会生活保健福祉委員会、茨城大学教育学部教授、常磐短期大学幼児教育保育学科准教授、芳賀地区自立支援協議会すこやか発達部会、更生保護女性の会西那須野支部、茨城女子短期大学保育科准教授、学校法人子どもの森、栃木市

(西那須野学園報 2018年8月9月号加筆修正)

## アジア学園だより

学校法人 アジア学院  
校長 荒川 朋子

### 女性の点数を一律減点 !?

東京医大の一般入試におけるこの処置には本当に驚いた。大きなショックを受けた。今の時代にこんな

なことが堂々で行われているとは、時代を疑った。文科省の前局長の不正入試だけでもひどいと思っていたが、まさかこの大学は長期に亘って女性の受験者に対し一律に、つまり「等しく」差別をして合格の機会、もしかしたら医師になる機会さえ奪っていたとは、いったい現場の人たちは自分たち犯していた行為をどう思っていたのだろうか。奥の深い問題だと思う。

女性の医師は出産や育児で現場を離れるケースが多く、医師不足を防ぐためというのが理由らしいが、今やそういった事態を承知の上で女性が仕事と出産、育児を両立できるように調整や工夫をしていくのが世の風潮だと思っていたが、初めから女性に恣意的にスタートラインに立つ権利を黙って奪っているとは、悔しい思いでいっぱいである。大学が求める人材を明確にして、ある能力に秀でたもの、特色のある人物を優先的に合格させる方法は今や珍しいことではない。しかしそういった入試は初めから特殊であることをうたい、受験者はそれを知って臨む。しかし今回のような処置は、女性に対しての差別と偏見を元に、受験者を騙して受験させている。新聞で、「日本女性医療者連合」の理事のひとりが、「やっぱりね、という思いです。」と語っていたのもショックだった。医学部専門の予備校の偏差値比較でも女子の方が男子より高い傾向があるのに、医師国家試験合格者の女性の割合は20年間ほぼ3割で変わっていないという現状にこの理事は「大学入学時に何らかのコントロールが働いていると感じる」と思っていたという。そうすると、こういった措置は他の大学でも行われている可能性は高いということになる。

長くアジア学院でジェンダーのクラスを担当している。途上国の、それもアジア学院の学生が属する伝統的な農村地域の社会においては、女子、女性への差別はとても根強いものがあり、日本では考えられないような悲惨なものがある。女性は人権のある人間とは扱われず、家畜と同じように「資産」のひとつで、自分で何かを決めることも、財産を持つことも許されない、そんな社会が世界の多くに未だに存在するのは事実である。生まれてくる子供も、一般的に男子であることが好まれ、女性の人権は簡単に踏みじられ、簡単に殺されることもあたりまえの社会もある。しかし一方で、開発途上国であっても飛躍的に女性の社会進出を支援し、大きく変化している社会も多い。アフリカのルワンダはその中でも際立っている。90年代に残忍な民族同士の虐殺があった悲しい歴史をもつ国だが、その危機を乗り越

え、その後は新しい国づくりに皆が取り組み、国会では一定数の女性議員を選ぶクオータ制が導入され、現在は女性の国会議員は男性議員よりも多く6割を超える。もちろんこの割合は世界一である。外交の分野でも女性が要職を占めており、それを見習って、他のアフリカ諸国も女性の社会進出を国民が後押しをしている。アジア学院に応募してくるアフリカ人の中でも、女性が増えているのはそういった風潮を受けてのことだと思っている。

アジアの中では、フィリピンが伝統的に女性の活躍が目立っている。教師は高校レベルまで女性の割合が非常に高い。学校の先生といえば女性教師のイメージだ。大学レベルになると男性教員も増えるが、他の専門職でもアジア諸国の中ではフィリピンの女性の占める割合は突出している。こういった国々で女性が高い率で専門職に就けるのは、様々な要因があると思うが、日本は世界の中でも、特に経済発展を遂げた国々の中で、また民主主義を執っているとされる国の中では、いつまでたっても男女の差が多く分野でなかなか縮まらない、ジェンダーの平等に対しては非常に遅れた国として知られている。日本の社会で女性に相当分厚いガラスの天井があることはわかっていた。昨今の政治家のジェンダーに対するあまりにも無知な、差別的な発言にも、「あーまたか」という思いはあった。でもなぜか、この入試における一律の減点処置には腹が立った。それはなぜなのか。

恐らく、一般社会に出てからの女性への差別については、ある程度のアきらめと、ゆっくりではあっても各分野で理解が少しずつ広がっていることの認識があったので、自分の中でも理解と覚悟はあったのかもしれない。しかし、入試においてはこんなことが行われているとは思ってもよらなかったし、信じてくなくなった。最近子供の大学受験を終えた親としても、子供は男女関係なく等しく教育の機会を受けることができ、その点においては世界でも誇るべきことだと思っていたし、子供も男女関係なく努力し、受験をする本人も親も、平等の扱いを信じて入試に臨んでいる。教育の機会においては日本はもうとっくの昔に男女差別を乗り越えていると思っていた。なのに、である。日本は外見や国籍のちがいに対する差別はひどい。これも絶対に乗り越えていかなければならない課題だと思っているが、それ以前に、外見も国籍も男子と変わらない女子が、女性であるという理由だけで差別を受けていたとは、本当に悲しい現状である。しかし、ぼやいてばかりも嫌である。今の子供、未来の子供たちが、「やっぱりね。」

という悲しいつづやきをしないためにはどうしたらいいのか、真剣に考えていきたい。そして「やっぱりね。」は男性側にあってもいけないのである。共にそれぞれの違いを認め、共に得意とする能力が発揮できる社会に早く近づきたいものである。

## YMCAだより

【とちぎYMCAサマープログラムがスタートしました！】

夏が始まりました！夏といえばYMCAのサマープログラムです！

今年の夏はYMCAでお馴染みのキャンプに加え、デイキャンプスクールや水泳教室など7月下旬から、8月末まで様々なプログラムが展開されます。また、那須YMCAのボランティアリーダーが今年の夏も子どもたちのためにプログラムの準備をがんばっています！今年の夏もさらに暑い、YMCAのプログラムになりそうです！



### 【那須YMCAの8月の予定】

- ・夏休み期間中、サマープログラムとしてキャンプやスクール、短期水泳など計13のプログラムが実施されます。
- ・サタデークラブ、西那須野幼稚園の運動遊びや英語遊びなどは8/30からスタートします。

## ユースリーダーのつづやきコーナー

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言



- ① あっきー（青木綾香）
- ② 国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科
- ③ 福岡県
- ④ ボランティア紹介でYMCAというサークルを見かけ、楽しそうだなと思ったから

- ⑤川遊び：初めてのYキッズで初めての水のプログラムだったので、不安もあったがきちんと楽しくやり遂げることが出来たから
- ⑥診療情報管理士を目指してます
- ⑦これからも、たくさんの方に挑戦していきたい  
と思います！

**会計より会費の納入をお願いします。**